

平成 27 年度（平成 28 年 3 月期）

事業報告書

（平成 27 年 4 月 1 日から、平成 28 年 3 月 31 日まで）

平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日から、平成 28 年 3 月 31 日まで）に行なった主な事業は下記の通りです。

1. 公益目的事業の実施状況

公益目的事業

公1	公2	公3	公4	公5	公益共通
『タイ国情報』発行	書籍刊行	講演会・セミナー	日本語書籍寄贈	図書館	HPを通じた情報発信

(1) 機関誌『タイ国情報』の発行（隔月発行）および復刻事業 [公1]

① 『タイ国情報』を計画通り 6 回（平成 27 年 3・5・7・9・11 月号、平成 28 年 1 月号）発行しました。費用（直接費用のみ、人件費等配賦費用は除く）は、合計 4,276 千円（印刷製本費 2,115 千円・諸謝金<執筆料>1,973 千円・通信費 188 千円）となり、前年度に比べ 128 千円増加しました。主な要因は、印刷製本費が 93 千円、執筆料が 37 千円、それぞれ増加したことです。このため、1 回あたりの平均発行費用は 713 千円になり、平成 26 年度比 21 千円の増加となりました。

今後、費用（印刷費、執筆料）をコントロールしつつ、内容のさらなる充実を図ります。

『タイ国情報』直接費用 (単位：千円)

		平成27年度	平成26年度	増減
合計		4,276	4,148	+ 128
内訳	印刷製本費	2,115	2,022	+ 93
	諸謝金（執筆料）	1,973	1,936	+ 37
	通信費	188	190	▲ 2
1回あたり平均発行費用		713	691	+ 21

② タイで平成 26 年 5 月 22 日に発生したクーデターにより成立した軍事政権は、「民主主義回復のための 3 段階の工程表」を作成し、当初は、早ければ平成 27 年 10 月～平成 28 年初めにかけて総選挙が行われるとの見通しでしたが、平成 28 年 3 月末時点ではまだ第二段階（国会が開かれ、暫定首相、閣僚が選出され新しい憲法を策定）にとどまったままです。第一次憲法草案は作成されたものの、平成 27 年 9 月に国家改革会議で否決され、第二次草案は平成 28 年 3 月 29 日に漸く公表されたところで、8 月に国民投票、平成 29 年に総選挙が行われる予定です。

タイ経済は、世界経済、特に中国経済の低迷による輸出の鈍化、国内消費の低迷などに見舞われ、景気テコ入れのために、昨年 8 月の内閣改造で経済閣僚

が一新されましたが、なかなか浮上の兆しが窺えません。労働需給は逼迫しており、第一次産業では外国人労働者に多くを依存するようになりました。内需刺激策としてはインフラ投資、特に鉄道事業が計画されており、日本と中国が受注競争を繰り広げました。平成 27 年末には ASEAN 経済共同体（AEC）が発足し、タイは地理的にも、産業の集積度合いからも優位な位置にあると思われれますが、ASEAN 諸国と経済成長率を比較するとやや見劣りする状態です。

そのような環境下、『タイ国情報』の記事として、従来からの政治・経済・社会に関するテーマを中心とした長期連載に加え、タイの高速鉄道計画、タイの外国人労働者、タイのメディア、タイの近代文学、元駐タイ大使による連載などを始め、記事の充実を図りました。このため、1冊あたりページ数は165ページと、前年度比増加しました。

<平均ページ数（年度発行分平均）>

24年3月期 ③148ページ	⇒	25年3月期 151ページ	⇒	26年3月期 149ページ	⇒	27年3月期 156ページ	⇒	28年3月期 165ページ
-------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------

③ 『タイ国情報』は研究資料として活用されるよう、また、当協会の認知度が高まるよう、会員のみならず、大学・公立図書館、大学研究室、研究機関などへの納本を継続しています。

・配布先数： 約 400 ヲ所

（うち、図書館・大学研究室、研究機関など、約 150 ヲ所）

④ 有料頒布については、前年度に比べやや増加し、平成 24 年度（平成 25 年 3 月期）並みとなりました。

<有料頒布金額推移>

24年3月期 209千円	⇒	25年3月期 110千円	⇒	26年3月期 146千円	⇒	27年3月期 101千円	⇒	28年3月期 111千円
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	-----------------

(2) 書籍刊行事業 [公 2]

平成 27 年度は、書籍刊行は実施しませんでした。

(3) 講演会およびセミナー開催事業 [公 3]

① タイには多くの日系企業が進出し、バンコク日本人商工会議所の会員企業数は 1,688 社（平成 27 年 12 月末）と在外商工会議所としては上海商工会議所に次ぐ規模になりました。特に自動車、電機・電子分野では他国の追随を許さないほどの産業の一大集積地を形成しています。一方で最近の進出企業には、「地方化」「中小型化」「ソフト化」「インフラ関連」の傾向が見られま

す。また、少子化が進む日本では各大学が積極的に留学生を受け入れており、バンコクには 10 校程度の日本の大学が事務所を設置しています。これらの事情を鑑み、平成 27 年度は 4 回の講演会を開催しました。会員のみならず、当協会のホームページ等を通じて、一般の方、アジア諸国の関連団体などから、4 回合計で約 250 名の方にご参加いただきました。

<講演会の概要（所属、肩書は講演当時のもの）>

- ・平成 27 年 4 月 「タイで進んでいる日タイ大学間交流の実情と課題」
講師：江藤 賢一 氏（シーナカリンウィロート大学客員教授）
- ・平成 27 年 6 月 「タイから帰国して」
講師：佐藤 重和 氏（前駐タイ日本大使）
- ・平成 27 年 10 月 「タイの軍隊」
講師：七屋 晴稔 氏（陸上自衛隊第一普通科連隊長）
- ・平成 27 年 10 月 「フィデアグループのアジア・タイ戦略」
講師：里村 正治 氏（フィデアホールディングス株式会社代表執行役社長）
鈴木 布佐人 氏（フィデアホールディングス株式会社理事）

② 平成 26 年度に実施したタイ映画に関するセミナー「タイの名作映画を楽しむ」は、講師の先生とのスケジュールが合わなかったことから、平成 27 年度は開催できませんでした。平成 28 年度は再開する予定です。

(4) 日本語書籍寄贈事業 [公 4]

タイで日本語教育を行なう中高校・大学などに日本語書籍を送るプロジェクト（過去、バンコクで 2 回、北部チェンマイを中心に 1 回、東北部で 2 回、南部で 1 回実施）は、本邦の協力団体や会員等から書籍を寄贈いただいたほか、タイ側での協力も得て、平成 28 年 2 月に第 7 回として中部の中高等学校、語学学校 23 校に合計 1,091 冊を寄贈しました。在タイ日本大使館、国際交流基金、タイ国元日本留学生協会（OJSAT）などの協力を得て、寄贈先の選定、送付ルートの確認などを実施しました。

<協力団体>

日本：株式会社学研ホールディングス、日本放送協会（NHK）、株式会社小学館、三井倉庫ホールディングス株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、千代田区立神田一橋中学校、千代田区立千代田小学校、そのほか個人の方

タイ：在タイ日本国大使館、国際交流基金（バンコク）、タイ国元日本留学生協会（OJSAT）、泰日経済技術振興協会（ソーソーター）、泰日工業大学

(5) 図書館の運営事業 [公5]

平成20年4月に蔵書約500冊を基に開設された当協会図書館は、協会役員・会員をはじめとする多くの方々からの寄贈や独自購入により、平成28年3月末には蔵書約5,600冊の規模になりました。また、タイ語の書籍が約1,300冊となり、学生のボランティアの助けを借りて整理を進めています。大学や研究機関のタイ研究者、タイで業務を行う企業の方、学生、タイに興味をお持ちの個人の方などにご利用いただいております。

(6) ホームページを通じた情報発信 [共通]

ホームページを通じ、当協会の活動状況、『タイ国情報』目次、所蔵図書リストなどを提供するほか、講演会やその他の当協会活動への参加案内など、当協会からの情報発信を行っています。

2. その他の事業の実施状況

(1) 「納涼の夕べ」を開催

夏の恒例行事である「納涼の夕べ」をタイ王国大使館との共催により、平成27年8月25日に、三井住友銀行呉服橋クラブにて開催しました。経費削減の観点より、会場を変更し、規模を縮小して実施しました。当協会会員、大使館関係者、関連団体などから、約160名の参加をいただき、タイ国に関係する方々の親睦交流を図りました。

3. 協力事業等の実施状況

(1) タイ王国大使館が主催するプミポン国王陛下誕生日祝賀パーティー（平成27年12月5日）に際し、盛花を贈呈すると共に、祝賀メッセージを英字紙に掲載しました。

(2) 日本タイ学会主催の研究大会に参加し、タイ研究者との交流を深めるとともに、『タイ国情報』の執筆者の発掘に努めました。

・平成27年7月11日（土）、12日（日） 於：東京学芸大学

(3) 神田外語大学および在京タイ王国大使館共催の「第10回タイ語弁論大会」を後援すると共に、賞品を提供しました。宇都宮大学、桜美林大学、大阪大学、慶應義塾大学、明治大学、立命館アジア太平洋大学、神田外語大学から18名の学生が参加し、日ごろのタイ語学習の成果が披露されました。

・平成27年12月19日（土） 於：神田外語大学ミレニアム・ホール

4. 協会の運営状況について

(1) 会員増減

法人会員は2社減少して合計99社となりました。個人会員は2名減少して計137名となりました（いずれも平成28年3月末現在）。今後共、会員獲得に努めてまいります。

以上

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、記載する事項はありません。

平成27年度（平成28年3月期）貸借対照表

（平成28年3月31日現在）

〔単位：円〕

科 目	当期	前期(27/3月末)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現預金			
現金	0	0	0
預貯金	6,005,218	6,254,248	▲ 249,030
現預金計	6,005,218	6,254,248	▲ 249,030
未収会費	490,000	0	+ 490,000
流動資産合計	6,495,218	6,254,248	+ 240,970
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	19,000,000	19,000,000	0
基本財産合計	19,000,000	19,000,000	0
(2) その他固定資産			
図書館所蔵書籍	1,269,756	1,161,756	+ 108,000
敷金	470,934	470,934	0
電話加入権	74,600	74,600	0
什器備品	1	1	0
その他固定資産合計	1,815,291	1,707,291	+ 108,000
固定資産合計	20,815,291	20,707,291	+ 108,000
資産合計	27,310,509	26,961,539	+ 348,970
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税	73,140	73,802	▲ 662
社会保険料	37,184	36,965	+ 219
預り金計	110,324	110,767	▲ 443
前受会費	2,130,000	0	+ 2,130,000
流動負債合計	2,240,324	110,767	+ 2,129,557
負債合計	2,240,324	110,767	+ 2,129,557
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	25,070,185	26,850,772	▲ 1,780,587
(うち基本財産への充当額)	(19,000,000)	(19,000,000)	(0)
正味財産合計	25,070,185	26,850,772	▲ 1,780,587
負債及び正味財産合計	27,310,509	26,961,539	+ 348,970

平成27年度（平成28年3月期） 正味財産増減計算書

（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

(A)

(B)

〔単位：円〕

科 目	実 績	26年度(27年3月期) 通年実績額	差 異(A-B)	備 考
1 I 一般正味財産増減の部				
2 1. 経常増減の部				
3 (1) 経常収益				
4 ①基本財産運用益	4,756	4,750	6	
5 基本財産受取利息	4,756	4,750	6	28年度会費は前受会費に計上
6 ②受取会費	14,739,028	16,169,028	▲ 1,430,000	(2,130千円、うち法人2,100千円、個人30千円)
7 賛助会員受取会費	14,739,028	16,169,028	▲ 1,430,000	未収会費(490千円、うち法人350千円、個人140千円)
8 ③事業収益	114,378	118,721	▲ 4,343	
9 機関誌発行・書籍発行事業	111,366	101,221	+ 10,145	
10 講演会・セミナー事業	0	16,000	▲ 16,000	
11 図書館運営事業、他	3,012	1,500	+ 1,512	
12 ④雑収益	651,285	3,352	+ 647,933	
13 雑収入	650,000	1,836	+ 648,164	シハサク大使歓迎会会費
14 受取利息	1,285	1,516	▲ 231	
15 経常収益計	15,509,447	16,295,851	▲ 786,404	
16 (2) 経常費用				
17 印刷製本費	2,115,352	2,021,932	+ 93,420	
18 書籍刊行費	0	0	0	
19 刊行物購入費	171,146	135,928	+ 35,218	
20 諸謝金	2,213,000	2,657,524	▲ 444,524	
21 通信運搬費	869,605	1,067,645	▲ 198,040	
22 旅費	394,571	618,898	▲ 224,327	
23 消耗品費	185,965	217,362	▲ 31,397	
24 パーティ費	532,967	1,339,076	▲ 806,109	「納涼の夕べ」費用抑制
25 会議費	101,070	93,659	+ 7,411	
26 会場費	45,000	45,000	0	
27 大使館行事関係費	783,810	118,800	+ 665,010	シハサク大使歓迎会費用
28 雑支出	0	0	0	
29 臨時支出	0	0	0	
30 支払手数料	172,364	151,550	+ 20,814	
31 賃借料	2,034,432	2,039,142	▲ 4,710	図書館事業(公5)・管理費に各50%配賦
32 光熱水料費	204,896	204,418	+ 478	図書館事業(公5)・管理費に各50%配賦
33 清掃費	207,360	206,880	+ 480	図書館事業(公5)・管理費に各50%配賦
34 租税公課	1,560	1,440	+ 120	
35 消耗什器備品費	3,048	8,234	▲ 5,186	
36 減価償却費	0	0	0	
37 役員報酬	2,400,000	2,400,000	0	
38 給与・賞与	3,856,932	3,456,000	+ 400,932	
39 通勤手当	444,000	444,000	0	
40 社会保険料	637,572	633,978	+ 3,594	
41 福利厚生費	23,384	26,845	▲ 3,461	
42				
43 経常費用計	17,398,034	17,888,311	▲ 490,277	
44 評価損益等計	0	0	0	
45 当期経常増減額	▲ 1,888,587	▲ 1,592,460	▲ 296,127	
46 2. 経常外増減の部				
47 (1) 経常外収益	108,000	53,400	+ 54,600	
48 資産評価益	108,000	53,400	+ 54,600	図書館事業(公5)・書籍360冊増加
49 (2) 経常外費用				
50 当期経常外増減額	108,000	53,400	+ 54,600	
51 当期一般正味財産増減額	▲ 1,780,587	▲ 1,539,060	▲ 241,527	
52 一般正味財産期首残高	26,850,772	28,389,832	▲ 1,539,060	
53 一般正味財産期末残高	25,070,185	26,850,772	▲ 1,780,587	
54 II 指定正味財産増減の部				
55 指定正味財産期首残高	0	0	0	
56 指定正味財産期末残高	0	0	0	
57 III 正味財産期末残高	25,070,185	26,850,772	▲ 1,780,587	

平成28年3月期 正味財産増減計算書内訳表

(平成27年4月1日 から 平成28年3月31日まで)

公益財団法人日本サイコロ
協会(公)

科 目	公益目的事業				その他事業		(A) 合計	(B) 27年3月期 前期人数	芥川 (A・B)	28年3月期 人数	芥川 (A・C)
	公1 (機関費)	公2 (印刷)	公3 (講義会)	公4 (寄附)	公5 (図書館)	公益共通					
1 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
2 (1) 経常収益											
3 ① 基本財産運用収益											
4 ② 受取利息	4,421,708	515,865	1,031,731	736,951	1,473,902	147,390	8,327,547	736,951	4,756	4,756	6
5 ③ 事業収益	111,366		0				111,366				
6 ④ 雑収益								650,000			
7 ⑤ 雑収入											
8 ⑥ 雑収入											
9 ⑦ 雑収入											
10 ⑧ 雑収入											
11 ⑨ 雑収入											
12 ⑩ 雑収入											
13 ⑪ 雑収入											
14 ⑫ 雑収入											
15 ⑬ 雑収入											
16 ⑭ 雑収入											
17 ⑮ 雑収入											
18 ⑯ 雑収入											
19 ⑰ 雑収入											
20 ⑱ 雑収入											
21 ⑲ 雑収入											
22 ⑳ 雑収入											
23 ㉑ 雑収入											
24 ㉒ 雑収入											
25 ㉓ 雑収入											
26 ㉔ 雑収入											
27 ㉕ 雑収入											
28 ㉖ 雑収入											
29 ㉗ 雑収入											
30 ㉘ 雑収入											
31 ㉙ 雑収入											
32 ㉚ 雑収入											
33 ㉛ 雑収入											
34 ㉜ 雑収入											
35 ㉝ 雑収入											
36 ㉞ 雑収入											
37 ㉟ 雑収入											
38 ㊱ 雑収入											
39 ㊲ 雑収入											
40 ㊳ 雑収入											
41 ㊴ 雑収入											
42 ㊵ 雑収入											
43 ㊶ 雑収入											
44 ㊷ 雑収入											
45 ㊸ 雑収入											
46 ㊹ 雑収入											
47 ㊺ 雑収入											
48 ㊻ 雑収入											
49 ㊼ 雑収入											
50 ㊽ 雑収入											
51 ㊾ 雑収入											
52 ㊿ 雑収入											
53 ㊽ 雑収入											
54 ㊾ 雑収入											
55 ㊿ 雑収入											
56 ㊽ 雑収入											
57 ㊾ 雑収入											
58 ㊿ 雑収入											

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

当該事業年度（平成 27 年度）から「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日、平成 21 年 10 月 16 日改正、内閣府公益認定等委員会）を適用している。

（1）固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、法人税法に規定する次の方式を採用している。

有形固定資産： 定額法

（2）消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおり。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	19,000,000	0	0	19,000,000
小計	19,000,000	0	0	19,000,000
特定資産				
	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	19,000,000	0	0	19,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおり。

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	19,000,000	(0)	(19,000,000)	(0)
小計	19,000,000	(0)	(19,000,000)	(0)
特定資産				
	0	(0)	(0)	(0)
小計	0	(0)	(0)	(0)
合計	19,000,000	(0)	(19,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおり。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
図書館所蔵書籍	1,269,756	0	1,269,756
敷金	470,934	0	470,934
電話加入権	74,600	0	74,600
什器備品	465,551	465,550	1
合計	2,280,841	465,550	1,815,291

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。
2. 引当金の明細
引当金は計上していない。

平成27年度（平成28年3月期）財産目録

（平成28年3月31日現在）

[単位：円]

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
1 I 資産の部			
2 1. 流動資産			
3 現金			0
4 預金			
5 普通預金	三井住友銀行日本橋支店	運転資金として	2,740,774
6	三井住友銀行日本橋支店 <預り金口>	運転資金として	110,324
7	三菱東京UFJ銀行日本橋支店	運転資金として	101,945
8	普通預金計		2,953,043
9 振替貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として	52,175
10 定期預金	三菱東京UFJ銀行日本橋支店	運転資金として	3,000,000
11	定期預金計		3,000,000
12 未収会費	法人会員4社350千円、 個人会員12名140千円	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する平成27年度会費の未収金	490,000
13			
14 流動資産計			6,495,218
15 2. 固定資産			
16 基本財産			
17 定期預金	三井住友銀行日本橋支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の事業共用の財源として使用している。	19,000,000
18 基本財産計			19,000,000
19 その他固定資産			
20 図書館所蔵書籍	タイ関連書籍を中心に、図書館に所蔵する閲覧用書籍3,224冊	公益目的保有財産であり、図書館運営事業（公5）に100%使用している。	1,269,756
21 敷金	三井住友銀行 神保町ビル別館2階 60.69㎡。	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業（公5）の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	470,934
22 電話加入権	NTT固定2回線	共有財産であり、うち50%は公益目的事業として公益事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	74,600
23 什器備品	東芝製プリンタ複合機Studio232	公益目的保有財産であり、100%を公益目的に使用している。	1
24 その他固定資産計			1,815,291
25 固定資産合計			20,815,291
26 資産合計			27,310,509
27 II 負債の部			
28 1. 流動負債			
29 預り金			
30 源泉所得税		執筆・講演謝金、役員報酬、給与に係る源泉所得税	73,140
31 社会保険料		健康保険料、厚生年金保険料	37,184
32 預り金計			110,324
33 前受会費	法人会員2社2,100千円、 個人会員3名30千円	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する平成28年度会費	2,130,000
34			
35 負債合計			2,240,324
36 正味財産			25,070,185